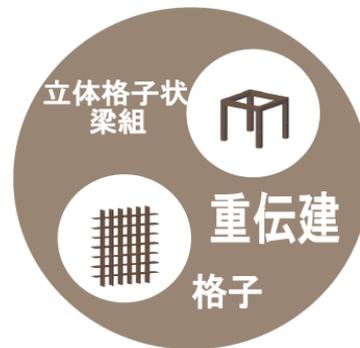


学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2022年	
受賞タイトル	優秀賞	
区分	IV. 都市ディスプレイデザイン	
フリガナ	オダユイカ	
制作者名	小田唯加	
フリガナ	ダイドウダイガクコウガクブケンチクガッカ	
大学・学部・学科	大同大学工学部建築学科(2022年3月卒業)	
フリガナ	ナシマタカミツ	職名
推薦者名	中島貴光	大同大学工学部建築学科 教授
作品名	また来てくれんさいなー高山陣屋前広場における「新しい朝市」ー	
概要	<div data-bbox="287 896 1013 1422" data-label="Image"> </div> <p>1.はじめに 時代の流れの中で、コロナ禍とともに以前見ていた景色がなくなってしまった。昔からあるものに目がいかなくなった今、町らしさ、誇りを語る人はどれぐらいいるのだろうか。</p> <p>コロナ禍による観光客減少や高齢に伴う後継者問題というように様々な問題を抱えている。高山には古くから続く歴史・伝統・文化がある。以前の賑わいを取り戻すために、高山らしさについて追及し、高山を感じられる空間を提案した。</p> <p>2.作品について 高山の町家の特徴である立体格子状の梁組と格子の使われ方について調査した。高山の町並みでは9種類の格子が使われていた。格子の役割は一般的にみられる目隠しの格子と見せるための格子の二つに分けることができ、見せるための格子がインテリアとなり、店舗。業態・用途によって役割を変化させることで視線操作が可能となる。同じ空間にいても場所や高さ・角度によって見え方が変化していく面白さが味わえる。</p> <p>3.最後に 私たちが住む町の誇れるものが形となり、人と人がつながる。色々な世代の人が地元を誇りに感じ、それがずっと続いていく空間になることを願います。</p> <div data-bbox="287 1433 1013 1971" data-label="Image"> <p>▽町並み調査シート(シートの半分)</p> </div> <div data-bbox="287 1982 1444 2150" data-label="Image"> </div>	

製作者名	小田唯加
作品名	また来てくれんさいなー高山陣屋前広場における「新しい朝市」ー

【コンセプト解説】



よう来てくれんさいな、また来てくれんさいな
また来たい高山の町の朝市に "高山らしさ" の追求



私たちは人生でたくさんの人に出会い、たくさんの場所を訪れる。

しかし、一度会った人のことを覚えている人はいるのだろうか。

そんな疑問から、何年経っても訪れたい、また会いたいと感じる空間を想像した。

高山の5つのらしさについて追及し、この場所の記憶がずっと続いていく
人の記憶に残り続ける場所を提案する。

素朴な飛騨ことば・重伝建の梁組、格子・自然・飛騨の匠・食文化
朝市のの周りには歴史・文化・伝統が詰まっている。

大型スーパーなど便利なものが普及している今、古くから続くものに人が集まらない。
観光客だけでなく、地域の人、学生、若者が集まる空間を作るために